

【解答】
[設問1] aーア, bーア
[設問2] cーア, dーア, eーウ, fーイ, gーイ

【解説】
情報システムの効果見積りについての問題である。企業において情報システムを導入する場合、導入の効果を適切に評価する必要がある。本問では、設問1は、情報システムへ投資した資金の回収について、投資回収の意味を問い、具体的な回収期間を計算させる内容、設問2は、3種類の情報システム導入による期待効果が企業の損益にどのような影響を与えるのかを問う内容となっている。
計算問題については、明示されている3種類の情報システムの導入による効果見積りが何を表しているかを理解し、提示されている回収期間や営業利益における期待効果を算出する手順と式に従って計算すれば解答を導くことができる。
文章（用語）を解答する問題については、問題文の意図を正確に読み取って、選択肢の文言と照らし合わせれば正解を選択することができると考えられる。
この問題の難易度は普通である。

[設問1]
・空欄a：投資回収とは、投資した資金を、投資した効果によって得られるキャッシュフローや削減経費などによって回復することである。支出した資金を得られた資金で埋め合わせると考えればよい。投資回収期間とは、投資した資金をどの程度の期間で回収できるかを表す。この設問では、支出する資金は開発費と運用費（年間運用費の累計）であり、得られるキャッシュフローや削減経費は効果である。開発した情報システムを運用することによって、効果>開発費+運用費となれば投資を回収したことになる。したがって、(ア)が正解である。
・空欄b：表1によると資材調達システムを導入した場合、年間の資材調達費の2%が削減できるとあるので、削減額は、年間の資材調達費 2,000 百万円の 2%である 40 百万円となる。開発費は 30 百万円、年間運用費は 2 百万円で、開発費を加えたシステム稼働後 1 年目の投資資金は 32 百万円となるため、システム稼働後 1 年目までに効果が投資額を上回ることが分かる。したがって、(ア)が正解である。

[設問2]
・空欄c：表1によると営業支援システムを導入した場合、売上高は年間 3%増加するとあるので、売上高は 4,120 百万円に増加する。同様に売上原価も年間 3%増加するので、3,090 百万円となり、売上総利益は、1,030 百万円（4,120 百万円－3,090 百万円）となる。販管費は問題文に示されているように 12 百万円の増加で 812 百万円となる。営業利益は 218 百万円（1,030 百万円－812 百万円）増加するので、営業支援システム導入前の営業利益 200 百万円を 18 百万円上回ることが分かる。したがって、(ア)が正解である。
・空欄d：表1によると資材調達システムを導入した場合、資材調達費の 2%が削減できるとあるので、削減額は、年間の資材調達費 2,000 百万円の 2%である 40 百万円となる。表2から資材調達費は売上原価に含まれることが分かるため、「を 40 百万円削減できる」の空欄 d は売上原価が適切である。したがって、(ア)が正解である。
・空欄e：法務課は間接部門であるため、「契約管理システムの利用によって削減できる間接部門の法務課の労務費」は、売上原価ではなく、販管費となる。減価償却費も運用費も製品の製造に直接かかる費用ではなく、販管費である。契約管理システムの導入によって販管費（労務費）が 5 百万円削減でき、一方、減価償却費などが発生するため販管費が 2 百万円増加する。契約管理システムを利用することによって、差し引き販管費は 3 百万円削減できる。販管費の削減分は営業利益効果となって表れるので、営業利益効果は 3 百万円となる。したがって、(ウ)が正解である。
・空欄f：表1によると資材調達システムの導入効果は資材調達費の削減である。資材調達費は売上原価を構成するので、資材調達システムを導入することによって売上原価を低減することができ、売上高に占める売上原価の割合が少なくなる。売上原価を低減すると売上高売上原価率が低下する。したがって、(イ)が正解である。
・空欄g：表1に示されている営業支援システムを導入した場合の営業利益効果は、売上高売上原価率が変わらないという前提である。空欄fで検討したように、資材調達システムを導入すると売上高売上原価率が低下するため、空欄cにおいて営業支援システムを導入した場合の効果の試算よりも売上原価が少なくなる。営業支援システムを単独で導入した場合の売上原価と比較して、資材調達システムを併用した場合の売上原価の方が少なくなるため、営業支援システム、資材調達システムをそれぞれ単独で導入した場合の営業利益効果の合計よりも、営業支援システム、資材調達システムを同時に導入した場合の営業利益効果の方が大きくなることが分かる。したがって、(イ)が正解である。